プロメテウス

九里学園高校　図書館
新着図書案内+α　2020.9 発行

本誌は、新着図書案内はもちろん
展示コーナーで紹介している本なども含め
さまざまな本のＰＲを行います。

言葉に触れる

現代では、SNS やスマホのラインでたくさんの言葉が飛び交っている。
しかし、それらの言葉は、飲めば飲むほど喉が渇く甘い飲み物に似ている。
それは詩の言葉とは違う『消費される言葉』だからなのかもしれない。
（寮美千子著「あふれでたのはやさしさだった」より）

スマホを持つことが当たり前となり、空いた時間に「スマホ」を手にする姿は日常的な風景となった。もちろん私自身、ついついスマホを見ていることがある。スクロールしながら、過ぎ去っていく言葉ではなく、ときに「本」を手に取り、じっくり文字に向き合う時間も、いいものですよね。

『いのちの停車場』

南杏子著　幻冬舎

救命救急センターから訪問診療の医師となった 62 歳の咲和子。命を送る現場で彼女が感じた「死」とは――。ラスト、すべての人へ問いかける問題に、読者は深く考えさせられることだろう。命には限りがあるのだ。

『エンド・オブ・ライフ』

ヒューム著　日本評論社

6 年間の在宅医療の現場で出会った人々の取材記録。彼らの日々と、彼らを数多く看取った看護師の元に訪れた終末期。死を前にした人々から著者が得たものとは何だったのか？終末期の在り方を考えさせてくれる一冊だ。

『一日の会話のすべてを英語にしてみる』

曽根田健三　上原寿和子著　ベレ出版

英語を話せるようになるために「日常生活で使う『ありふれた言葉』や『表現』から学習しよう！はなしかける⇔返すの形式で、さまざまな日常会話が掲載！

展示コーナーB

直木賞

＋「人と動物」

2020 年上半期の直木賞のコーナーを設置しました。受賞者馳星周作品をはじめ、受賞作「犬と少年」にちなんで「人と動物」を題材とした
フィクション、ノンフィクションを集めてみました。

その他　馳星周作品

『不夜城』　角川文庫
歌舞伎町を舞台にしたノワール小説

『生誕祭　上下』　文春文庫
バルブ時代のお金をかけたバトル！？

『少年と犬』

直木賞

馳星周著

「人の心を理解し、人に寄り添ってくれる。こんな動物は他にはいない。」
一匹の犬「多聞」を中心に、多聞と出会った人々を描いた連作短篇集。傷つき、悩み生きる人たちの傍に寄り添い、癒していく多聞。人と犬の関係を考えさせてくれる「犬を愛する」すべての人に贈る、感動作である。

『キリンの解剖』

郡司芽久著　ナツメ社

「キリンの研究者になりたい！」世界で一番キリンを解剖するキリン研究者の記録。大学入学前のシンポジウムで「もう将来の夢を実現するために動き始める時期なのか」と意識した著者は、ことあるごとに夢を語る。著者のキリンへ、研究にかける情熱を本書を読んで感じてほしい。

『使える脳の鍛え方 成功する学習の科学』

ピーター・ブラウン他著　NTT 出版

貴方はどんな風に勉強している？もし、その勉強の仕方がまちがっていたら？本書は、心理学の実験を通して、「学びたい技術や知識」を身につけることを、科学的に解説した本だ。紹介されているものは、努力を要する。しかし、「急がば回れ」だ。努力は貴方の能力の限界を広げてくれるだろう。

作家・馳星周とは？

はせ・せいしゅう

1965 年北海道生まれ。
編集者などを経て、1996 年「不夜城」でデビュー。
人間の心の奥を描いたノワール小説のジャンルを多く執筆しているが、今回受賞した「犬と少年」のような「犬」を題材とした作品もいくつか書いている。

『諦める力 勝てないのは努力が足りないからじゃない』

為末大著　プレジデント社

諦めるとは、「終わる」「逃げる」ことではない。競技人生の中で「諦める」ことに真摯に向き合った著者なりの生き方指南。「目的さえ諦めなければ、手段は変えてもいいのではないか」諦めるとは「明らめる」である。

『凪に溺れる』

青羽悠著　PHP 研究所

現役大学生 ２０歳の著者の第２作目。どこか欠けたものを感じさせる十太と、十太の作った曲に影響を受ける登場人物を描く連作短篇集。彼らが感じる生きづらさや想いに共感し、不器用な想いに心動かされる。十代の皆さんに読んでほしい一冊だ。

『地域とゆるくつながろう！サードプレイスと関係人口の時代』

石山恒貴著　静岡新聞社

地域への関わり方が見直される時代がやってきている。住んでいる地域以外にも、ふるさと、ファンになっている地域などと、地域とゆるくつながる実践例を紹介した本である。

『待っている犬　東日本大震災で被災した犬』関連図書

ドッグウッド著

今回直木賞を受賞した「少年と犬」の登場する犬「多聞」は、東日本大震災で被災し、野犬となった犬だ。「犬と少年」を読み、以前図書館に入った「待っている犬」を思い出した。本書を読み、「多聞」の想いに寄り添ってみては・・・・。

図書のリクエスト随時受付中！

図書館にない本で、読みたい本があるときは、リクエスト制度を活用下さい。

展示コーナー

図書館内では
図書委員や司書が、
さまざまなテーマで
本を紹介しています。定期的に変わるので、お楽しみに！

展示A『不思議の国のアリス』

九里祭図書委員会展示は、現在図書館前に移動して掲示していましたが、図書館内コーナーでも「アリス」本、「アリスを題材としたミステリー小説」などを展示中です！

図書館教育ニュースより（少年写真新聞）

展示SDGsコーナー『海を汚染するプラスチックごみ』

環境や生き物の生態に影響を与えるため世界中で問題になっています。3R から4R への取り組みを知ろう！

展示D『先生の読書アンケート+α』

図書委員会発行物「プリムローズミニ」読書アンケートで家庭科尾形先生がおすすめされた「ショーン・タン」絵本を展示中！その他過去の先生方のおすすめ本も同時に展示してます！

展示C『朗読劇日の名残り』

ノーベル文学賞受賞カズオ・イシグロの「日の名残り」朗読劇が 10 月に伝国の杜にて実施されます。それに合わせて、カズオ・イシグロコーナーを展示中です

Pick up!

新着図書

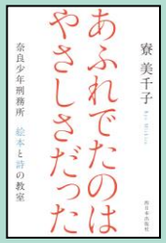
『日の名残り』

カズオ・イシグロ著

ある老執事の短い旅。イギリスの田園風景をたどりがなら、彼が回想する古き良き時代・・・。旅の中語られる静かな物語は、心地よい余韻を感じさせてくれる。ノーベル文学賞作家の一作。

『あふれでたのはやさしさだった』

寮美千子著　西日本出版社



奈良少年刑務所の少年たち。彼らはみな加害者である前に被害者であった。本書は、著者が、彼らとの「絵本と詩の教室」での出来事をまとめた一冊だ。「人は人の輪のなかで育つ」「詩の力」を実感した著者が語る少年たちとの教室の日々とは？

『図解でわかる14歳からのプラスチックと環境問題』

インフォヴィジュアル研究所著　太田出版

今まで幾度も警鐘が鳴らされていたプラスチックごみ問題。一度目は1973 年にもさかのぼる。当時から指摘されていたが、その便利さから急速に生活に浸透していったプラスチック。再び注目を集める“今”、改めてプラスチックが及ぼす影響や対策などを知ろう。

『地球温暖化で雪は減るのか増えるのか問題』

川瀬宏明著　ベレ出版

雪国に住む私たちにとっても、気になる問題である「地球温暖化が進むと雪は減るのか？」。本書は、科学的知見を踏まえて、地球温暖化で雪がどのように変化していくかをまとめた一冊だ。

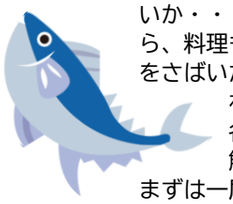
『アリス・ザ・ワンダーキラー 少女探偵殺人事件』

早坂吝著　光文社文庫

十歳の誕生日、アリスがプレゼントされた「極上の謎」。それは、仮想空間「不思議の国のアリス」で謎を解くことだった。父のように名探偵になりたいアリスが挑むのは、五つの謎。１話で１つの謎に挑む連作短編集で謎解きはいかが？

『魚を一尾、さばけたら！？』

濱田美里著　河出書房新社



あじ、いわし、さば、さんま、いか・・・。魚を一尾さばけたら、料理も一層楽しくなる！魚をさばいたことがない人でもわかりやすいように各工程を写真で細かく解説されています。まずは一尾さばいてみよう！

『まんがでわかる７つの習慣』

フランクリン・コヴィー・ジャパン監修　宝島社

「７つの習慣」のマンガ版が入荷！オリジナル版、ティーンズ版がなかなか読み進められない人は、まず「マンガ版」を手に取ってみよう！なかなか思うようにならないと思っているアナタ、手に取ってね！

『すごいぞ！はたらく知財』

国谷裕子監修　文渓社

ものづくりに興味のある貴方におすすめの一冊。著作権、特許権、意匠権、商標権、肖像権。ネットの利用が広がり、たくさんのコンテンツに触れる今、そのコンテンツを作っている人の想いに触れる機会となるだろう。

『超元気！現代病を防ぐ日本の知恵』

外薗明博著　幻冬舎メディアコンサルティング

【寄贈】プログレスコース・グローカルの授業、講師外薗さんの著作。高畠町での有機農業の取り組みをはじめ、現代人が取り戻すべき食と健康、農業についてまとめられた一冊。

『遥かに届くきみの聲』

大橋崇行著　双葉文庫

天才子役であった小宮透は、あることがきっかけで声が出せなくなる。そんな透に、朗読部に入ろう！と声をかけてくる少女遥。再び朗読に向き合うこととなり・・・。朗読の奥深さも楽しめ、文中の実在の作品も読みたくなる朗読青春小説だ。

目で学ぶシリーズ ベースボール・マガジン社

『バトミントンの基礎』大束忠司著

『バスケットボールの基礎』森圭司著

初心者が覚えておきたい技、練習方法などを「写真」でわかりやすく解説する本シリーズ。まずは、バドミントンとバスケットボールから受入開始！

『基礎から学ぶスポーツ障害』

鳥居俊著　ベースボール・マガジン社

アスリートやその家族、指導者が専門家に相談する前に調べてみたり、相談後伝えられた内容を確かめたりするのに活用できる一冊。スポーツトレーナーなどに興味がある人にもオススメ！

常設展示コーナー
メディアコーナー

映画・アニメ・ドラマなど映像化された作品の原作があります

『望み』 雫井脩介著　KADOKAWA

一登と妻貴代美の息子規士は、高校生になり無断外泊を度々するようになっていた。しかし、ある日規士は連絡もなく、行方不明となってしまう。さらには息子の友人が殺害され・・・。息子は犯人なのか？それとも？父と母のそれぞれの「望み」とは？

『ヴァイオレット・エヴァーガーデンシリーズ』

暁佳奈著　京都アニメーション

第５回京都アニメーション大賞受賞作のシリーズ。代筆屋の少女を中心に繰り広げられるヒューマンドラマ。アニメ化もし、この秋続編のアニメ映画化が公開予定である。本校にも原作「上巻」「下巻」「外伝」「エバー・アフター」、「前回映画のおまけ冊子」を所蔵しています。

展示コーナー（壁面）

ミニ展示が「書架の壁面」にいくつかあります。
「図書館教育ニュース」紹介の本２冊を展示中！

展示E『メディアリテラシー』

この情報どう受け止める？情報を適切に判断して読み解く

展示F『平安時代のライトノベル』

男らしい姫君と女らしい若君が、入れ替わる物語

継続購入図書

下記レーベルを継続購入しています。
岩波新書、岩波ジュニア新書、ちくまプリマ―新書
館内「新書コーナー」に最近のものは別置されます。

『公務員という仕事』

村木厚子著　ちくまプリマ―新書

37 年ちかく公務員として働く著者が語る公務員という仕事の醍醐味とは？著者は言う「一見、地味なものに見えるかもしれません、しかし、長い目で見れば、理想に向かって現状を変え、ときには人々の意識を変え、そして社会全体を変革することもできる、ダイナミックな要素もある仕事です」。その魅力に触れてみよう。

『できちゃいました！フツーの学校』

富士晴栄とゆかいな仲間たち　岩波ジュニア新書

全国のどこにでもある学校「宝仙学園」。生徒や教員たちから投げられたメッセージをはじめ、創意工夫のもと実践されていることをまとめたのが本書である。人前で話すことへの抵抗感をなくすために、本当のコミュニケーション能力って？など、フツーだけど、改めて考えてみてほしいことが詰まった一冊だ。

『一人で思う、二人で語る、みんなで考える』

追手門学院大学成熟研究所著　岩波ジュニア新書

探求学習、一体どうすればいいの？そんな方におすすめの一冊。情報を整理するには？グループワークでは？プレゼンってどうしたらいいの？に答えてくれる。探求に関わらず、さまざまな課題に直面したとき、きっと役立つだろう。

『夏空白花』 高校野球再建を描けた熱きドラマ

須賀しのぶ著　ポプラ社

『世界に一つだけの勉強法』

坪田信貴著　PHP 文庫　ビリギャル著者の説く勉強法とは？

『一流の本質　ずば抜けた成果を出す科学的努力の技術』

児玉光雄著　サイエンス・アイ新書

新書コーナーにはその他新着も入っています！